

福岡市総合図書館ビジョン（第2次） 骨子（案）

基本理念

未来へつなげる知のひろば

総合図書館は、豊富な知識や情報により、読書の楽しみを提供し、市民の学びや暮らし、地域の活動、社会における課題解決を支援するなど、多様な市民ニーズに応えていく生涯学習施設です。

近年のデジタル化、少子高齢化の急速な進展などの社会情勢の変化に柔軟に対応しながら、市民一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく活躍できる社会を実現し、未来へとつなげるため、生涯にわたって気軽に利用してもらい、知りたいに応える「知のひろば」を目指します。

3つの図書館像	図書館像実現のための基本方針	主な取り組み
誰もが本との楽しい時を過ごせる図書館 年齢や言語、障がいの有無などにかかわらず、訪れた市民がそれぞれの目的に沿って、充実した時間を過ごすことができる環境を提供するため、ハード面、ソフト面の充実や工夫を図り、生涯にわたって市民から選ばれ、活用される図書館を目指す。	居心地の良い空間づくり 誰もが利用しやすいサービスの提供	来館したくなるイベントなどの開催 本館の大規模改修や分館リニューアル、新設時におけるレイアウトの最適化検討 やさしい日本語などを活用したサービスの充実 身近で利用できる団体貸出の拡充
さまざまな知的好奇心に応える図書館 市民一人ひとりが心豊かに暮らせるよう、幅広い知的好奇心に応えるため、探究的学習や社会課題解決などにも寄与する、バランスの取れた図書資料をはじめ、郷土福岡の歴史・文化に関する資料やアジアの映画を中心とした映像資料など、当館特有の貴重な資料の保存と活用を両立した図書館を目指す。	資料・情報の幅広い収集・保存 レファレンスサービスの充実・周知 デジタル化によるサービスの向上 古文書、郷土、文学、映像資料の収集・整理保存と活用	身近なレファレンスサービスの実施 資料のデータベース及びデジタルアーカイブの公開推進 映画監督の講演、資料展示など、直接触れ合う機会の提供 研究者等による講座など学習機会の提供
子どもの豊かな心を育み、支える図書館 子どもの成長にとって欠かせない読書活動を推進し、社会全体で支援していくため、年齢や発達段階に応じて、子どもが本に親しみ読書をする習慣が身に付き、読書の楽しさに触れることができる図書館を目指す。	子どもや保護者を対象とした取り組みの充実（「福岡市子ども読書活動推進計画」の推進） 学校図書館との連携強化	子どもや保護者と本をつなぐイベントの実施 年齢層に応じた情報の発信 学校司書の充実にあわせた支援 電子図書館の学校との連携検討